

評価年度

令和 7 年度

1. 基本情報

公の施設名	利府町東部児童館
指定管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社
指定期間	令和5年4月1日～令和9年3月31日
施設設置条例	利府町児童館条例（平成22年8月3日）
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにするため、児童福祉法第35条第3項の規定に基づき、児童福祉施設として利府町児童館を設置する。
施設概要	・場 所：利府町葉山一丁目3番地1 ・敷地面積：1,526.78㎡ ・建物概要：鉄筋造2階 延床面積 497.75㎡ ・主な施設：遊戯室、集会室、児童クラブ室、乳幼児室、事務室
施設所管課	利府町 保健福祉部 子ども支援課

2. 管理実績(年間)

項目(単位)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
来館者数合計(人)	9,404	9,981	10,409		

3. 成果指標の達成度

指標 1

指標名(単位)	年間利用者(来館者)数(人)
指標式と指標の説明	年間利用者数の増減推移を図るものとする。

項目(単位)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
目標値(人)	8,000	9,000	10,000		
実績値(人)	9,404	9,981	10,409		
達成度(%)	117.6%	110.9%	104.1%	#DIV/0!	#DIV/0!

評価(5段階)	評価理由
A	昨年度よりも利用者が増加し、全利用者の数が1万人を越えた。乳幼児親子の利用数が前年度よりも増加した。児童クラブの利用者数が増加した半面、小学生の自由来館数は減少している。(児童クラブへ入所した児童が増えたため) 中高生の利用はほぼ昨年度と変わりなかった。 特に、子育て広場はイベントの充実や子育て広場担当職員の対応が保護者から好評だった事が、リピーターを増やし、利用者全体の人数の増加へ繋がった。

4. 事業の実施状況

(1) 指定事業

主な事業名	実施時期	内容
児童館事業	4月～3月	以下に、詳細な内容を記載している。
児童クラブ事業	4月～3月	
子育て広場事業	4月～3月	
地域連携事業（児童館事業）		
おもちゃ病院「くまさん」	5・7・9・11・3月	おもちゃ病院「くまさん」のドクターが来館し、地域のこども達が使っているおもちゃの修理を行っていただいた。
子育てハッピー広場	6・9月	乳児検診に合わせて、ミニ子育て広場を子育て支援拠点現場で連携して行い、親子の孤立を減らし、町内の子育て親子の育児を支援した。

(2)提案事業

主な事業名	実施時期	内容
小学生以上対象事業（児童館事業）		
チャレンジランキング	4～3月 (毎月1回)	「簡単なゲームをみんなで楽しみ、競い合う」を目的にイベントを行った。令和7年度は、しっぽ取りゲームやストラックアウトといったものだけではなく、期間を1～2週間ほど設けて行うあやとり検定や塗り絵選手権も行った。運動やゲームが苦手な子も、自分の得意なことで輝くことができていた。
みんなであそぼう	4～3月 (毎月1回)	「様々な素材に触れつつ、個々のイメージを大切にしながら制作を楽しむ」と「みんなで体を動かして、いろいろな遊びを楽しむ」を目的にイベントを行った。令和7年度は、普段は使うことができない素材を使える春の大工作祭りやこいのぼり飛行機といった制作、スパイシーモルックやドッジビーラー等の運動を行った。あまりやったことのない遊びや制作を取り入れることで、その後の自由遊びの幅が広がっていた。
どんぐりーぐ	4月～3月 (8月は除く)	令和7年度より実施。「こども達が普段できない遊びや特別な工作が出来る場の提供」を目的に行う。オリジナルのキーホルダーやしおりを作ったりポケモンカードゲームで遊んだりした。制作活動の参加者がだんだんと増えてきた。楽しい工作が出来ると楽しみにしている様子もみられた。
ペア・きっず商店街	8月	令和7年度より実施。「こども達がお店の企画から考え、それを実現できる場の提供」「こども達が、保護者・地域の方々と交流できる場の提供」を目的に実施する。7月から店の計画書を作成し準備をした。今回は5つのチームが出店した。当日はどのお店も商品を完売し喜んでた。
中学生高校生対象事業（児童館事業）		
中高生タイム	4～3月 (中高生が来館した時はいつでも)	「児童館が居場所として認識されるように、中高生が自由にのびのびと過ごせる時間と場所を確保する」「中高生の興味関心に合わせた視野を広げられる機会の提供や、様々なことに興味をもてる機会を作る」を目的にイベントを行った。令和7年度は日にちを決めずに中高生が来館した日に実施した。ソルトアート瓶作りやバスボム作り等の制作活動やペア・きっずカフェなどを行った。
中高生ボランティア	4月～3月	「中高生にスタッフ側の仕事を体験してもらい、一緒に施設を盛り上げる仲間という意識を持つ」「中高生の居場所として確立していく」を目的にイベントを行った。令和7年度は高校生の登録があり、児童クラブのこども達と遊んだり行事の準備を手伝ってくれた。
全来館者対象事業（児童館事業）		
季節イベント	10・12月	「季節に合わせた遊びの提供」「児童館を会場にし、幅広い年代が関わり遊びを楽しむ」を目的にイベントを行った。児童館祭りではハロウィンにちなんだゲームやグッズ販売やお化け屋敷を楽しむ姿が見られた。クリスマス会では、外部講師の発表や児童クラブの児童のダンス発表などがあり、多くの人が楽しんでいた。
おさがりマルシェ	12月	「各家庭で不要となったものを持ち寄り、子育て中の家庭で有効活用できるようにする」を目的にイベントを行った。クリスマス会と同時開催で多くの方が来館された。
児童クラブ事業		
こどもエコクラブ	4・5・7～11・1月	「季節に合わせた野菜などをみんなで育て、食べ物大切さを知る」「児童館の周りの環境整備を通し、身の回りの環境に興味を持つ」を目的にイベントを行った。令和7年度は、さつまいもを育てるだけではなくリフノスにてさつまいも料理をした。また、リボンベジタブルという活動を行った。生き物の命のすごさやエコについて考える良いきっかけとなった。
オンラインチャンネル参加	4月～3月 (毎月3～4回)	「Zoomを通して、地域外の仲間との交流を楽しむ」「自分の特技などを発表することを通して、自分に自信をもつ」を目的にイベントを行った。自分の得意なことを披露したり、勝負したりすることで、自信や向上心に繋がっている姿が見られた。また、離れた地域のこどもたちともゲームを通じた交流ができた。
お誕生会	4～3月 (毎月1回)	「年に1度の誕生日をみんなで喜び、一緒にお祝いをする」を目的にイベントを行った。その月お誕生日を迎えるこどもたちを主役に、みんなで〇×ゲーム等で盛り上がっていた。職員からもお誕生カードの贈呈をしており、少し照れながらも嬉しそうに眺めており、みんなにお祝いされる喜びを感じていた。

こども会議	不定期	「こどもたちの考えや想いを聞く機会を作り、こどもたち同士でより良い時間を過ごせるよう環境を整えていく」を目的にイベントを行った。令和7年度は不定期開催とした。児童館の玄関に飾るウエルカムボードのデザインをみんなでアイデアを出し形にすることができた。
こども企画	不定期	「こどもたちがやりたい遊びや大会を自分たちで企画運営することで、コミュニケーション能力や主体性を伸ばす」「個々の得意なことを披露できる場を作る」を目的にイベントを行った。令和7年度は不定期開催とし、あやとり対決や縄跳びチャレンジやサッカー大会とこどもたちのやりたいが詰まった企画が行われた。
モグちゃん's CUP	12月	離れた児童クラブの交流を行うという目的で実施した。大和町の3つの児童クラブをオンラインでつなぎ、競技大会を行った。4つの種目の選手を決め、練習を行い、12月24日各館をZOOMで繋いで競技会を実施。選手は児童クラブの代表として頑張り、他の子も熱心に応援していた。一生懸命に取り組む姿が見られた。

子育て広場事業

幼児クラブ（登録制）	前期 (5月～9月) 後期 (10月～2月)	「同年代のこどもを持つ保護者同士が交流を持ち、親子共に仲間づくりができるよう支援する」「家でも楽しめるふれあい遊びや季節の制作などを親子で一緒に楽しむ」を目的にイベントを行った。令和6年度からクラスを年齢で2つに分けて実施した。2クラス制にすることで、その年齢に合った遊びや工作を提供できた。また、幼児クラブから親子同士の交流が生まれ、イベントがない日でも一緒に子育て広場に遊びに来てくれるようになっていた。誕生日のお祝いもイベントの中で行った。
おはなしタイム	4～3月 (毎月1回)	「絵本や紙芝居、パネルシアター、エプロンシアターなど様々な方法での読み聞かせを楽しむ」を目的にイベントを行った。令和7年度は、午前だけの開催とした。
Ohanaサロン	4～3月 (毎月1回)	「子育て中の保護者の悩みに寄り添い、リフレッシュしてもらう」「季節に合わせたイベントを楽しむ」「保護者の方のニーズに合わせた、「食」や「健康」「発達」など子育てにかかわる情報配信を行う」を目的にイベントを行った。令和7年度は、ヨガやベビーマッサージを行い、藍染等の子連れではなかなか行のが難しい制作も取り入れた。
作ってわくわく	4～3月 (毎月1回)	「季節を感じる制作を親子で楽しみ、お子さんの成長を喜ぶ」を目的にイベントを行った。令和7年度もその月にちなんだカレンダー制作を行い、季節も感じつつ毎月のカレンダーを見ることで、こどもの成長を感じられる制作となっていた。
ペア・きつずデー	4～3月 (毎月1回)	令和7年度から実施する。「五感を使って制作や家庭で経験できない遊びを提供する」と目的にイベントを行う。「春の植物を集めてオリジナル図鑑を作ろう」や外部講師を招いての「やさしいやさい」等、外に出て活動したり本物の野菜を使ったりしていろいろな活動を行った。

その他事業

利用者アンケート	12・2月	「利用者の声を聴くアンケートをとり、利用者のニーズに合った施設運営が出来るようになる」を目的にアンケートを行った。
避難訓練	4・6・10・12・1・2月	「非常時に備え、職員同士、利用者の皆さんと避難の方法を確認していく」「施設内の安全環境を整備していく」を目的に実施した。火災・地震・不審者を中心に訓練を行った。施設の安全確認や研修も行った。

(3)自主事業

主な事業名	実施時期	内容
・児童クラブ事業 季節イベント	4・8・12・3月	令和7年度は、4月に「児童館探検」「月経について」、8月に「特別遠足」、12月に「クリスマス会」、3月に「お楽しみ会」を行った。季節に合わせたイベントをみんなで楽しむとともに、公共交通機関を使う経験や共同作品制作などの貴重な体験をする機会の提供となった。
・子育て広場支援事業 水遊び	7・8月	施設の外にあるテラスを活用し、テラスの下で水遊びを行い、夏の暑さを和らげるとともに、夏の楽しさを夏の楽しさを知ってもらう場となった。

評価（５段階）	評価理由
A	令和6年度の反省を活かしたイベント内容の見直し・充実を行った。令和6年度よりも乳幼児親子の利用者が増加した。リピーターも多く利用者からも一定の評価を得た。しかしながら、行事によっては令和6年度よりも参加者減少したイベントもあり、更に内容を検討していきたい。また、提案事業の中で、中高生タイムへの参加は令和6年度よりも増加したが、利用者数はほぼ横ばいであった。ペアきつず商店街やモグちゃん's CUP等新規の事業を行い、こども達が積極的に参加し、楽しく活動する事ができた。

５．利用者の満足度

(1)利用者満足度調査

調査手法/回答数	質問紙・Googleフォーム・hugnoteへの回答により実施 【12月】 児童クラブ保護者：9件 児童クラブこども：33件 児童館保護者：3件 児童館こども：1件 【2月】 児童クラブ保護者：17件 児童クラブこども：26件 児童館保護者：9件 児童館こども：23件
目標値の基準	アンケート各項目（自由記述を除く）の「満足」「やや満足」の割合 （令和6年度の目標値の基準「年間2回のアンケートの実施」より変更）

項目(単位)	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	
目標値(%)	2.0%	70%	70.0%		
実績値(%)	1.0%	75.28%	59.4%		
達成度(%)	50.0%	107.5%	84.9%	#DIV/0!	#DIV/0!

(2)その他の取り組み

取組事項	時期	内容

評価（５段階）	評価理由
A	利用者からは、一定の評価をいただいている。自由来館の小学生のアンケートの中にはふざけて記入されたものもある。そのようなものも集計してあるので、達成度が約85パーセントという数字になっている。しかしながら、保護者のアンケートからは、児童館の活動や職員の対応について、高評価をいただいている。 また、アンケートで記入のあった要望や意見は、令和7年度の下半期・令和8年度の運営に反映させている。利用者には充分満足していると感じさせていないことについては反省して令和8年度の運営に活かしていく。

6. 経営状況

(1)施設の収支概要

項目	令和7年度予算	令和7年度決算	予算決算比
収入 (a)	36,010	36,010	0
指定管理料	36,010	36,010	0
利用料金収入	0	0	0
(うち、減免補填額)	0	0	0
事業収入	0	0	0
その他の収入	0	0	0
支出 (b)	36,010	36,010	0
人件費	25,343	25,343	0
事務事業費	3,883	3,883	0
役務費	329	329	0
使用料/賃借料	624	624	0
維持管理費	639	639	0
その他の支出	5,192	5,192	0
収支 (a)-(b)	0	0	0
備考			

(2)指定管理団体(各社)の財務状況

財務状況	健全な財政状況である。
------	-------------

評価 (5段階)	評価理由
A	年内の指定管理料の範囲内で、適切な支出管理が行えた。

7. 管理業務の履行状況

検査方法	利府町保健福祉部子ども支援課職員が、現地調査によるヒアリング及び資料や施設を確認し、実施した。
実施時期	令和8年6月16日実施

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正	
危機管理	適正	
人員配置・地元活用	適正	
現金管理	適正	
会計・経理	適正	
情報セキュリティ	適正	
情報公開・個人情報保護	適正	
町への報告事項・事前承認等	適正	

加点事由	具体的内容
有	受託会社独自のマニュアル作成や、スタッフの理解度チェック確認テストを実施する等、運営についてスタッフ全体で安定した運営ができるように努めていた。また、営業所職員が定期的に児童館を巡回しており、スタッフのみならず受託会社としても安定した運営保持を保っていた。

評価（5段階）	評価理由
S	指定管理3年目となり、安定した管理運営がなされており、常に安全管理を行いながら、積極的に各事業を行っていた。

8. 指定管理者の自己評価（自己アピール）

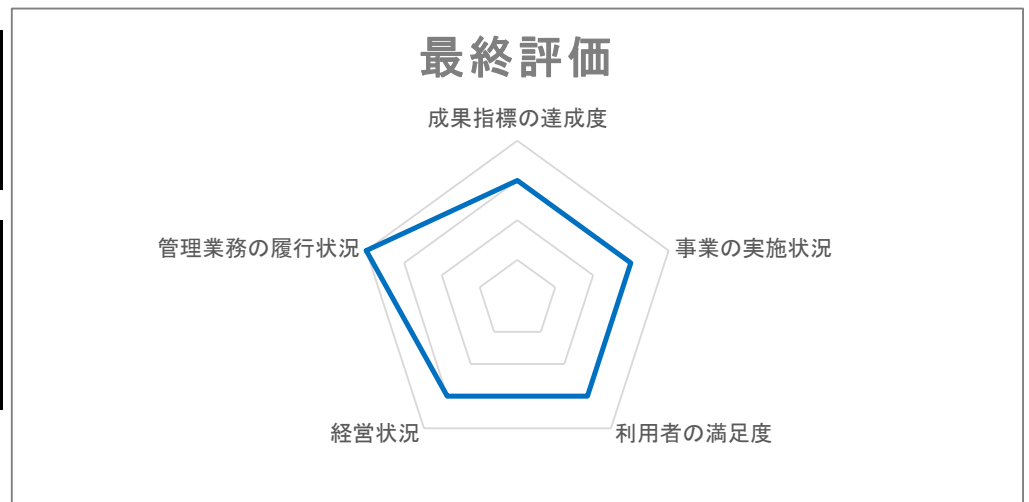
自己評価点数	令和7年度の児童館まつりでは、地域おこし協力隊や染殿神社の方々の協力をいただき御神輿を出していただいたり神社の歴史についてお話いただいた。例年以上に地域に根ざした活動になった。協力いただいた地域の方も児童と交流ができて喜ばれていた。中高生タイムでは決めた曜日ではなく中高生が来館した日に行った。その結果行事の参加者が増えた。 また、児童館内での活動にとらわれることなく、利府町内のリフノスでの調理活動や公共交通を使用したうみの杜水族館への遠足、そしてペアきッズ商店街やモグちゃん's cup等新しい行事等も子どもたちや保護者から好評な事業が行えた。保育所との連携を図るため、葉山保育園の幼児に児童館を体験してもらったり、情報交換を行ったりした。
74	
自己総合評価	
S	

9. 所管課意見

指定管理者3年目になり、昨年以上に地域に密着した運営になっていた。町内会はもちろんのこと、葉山保育園交流、赤沼染殿神社の神輿担ぎ体験、地域おこし協力隊と歴史について学ぶ等、「地域を知る」ことに注力されていたと感じた。運営委員より提案された「リボンベジタブル」の活動を新たに導入するなど、子ども達にとっても良い体験の場の提供に繋がっていた。 また、子育て広場は多彩なイベントを企画したり、参加しやすい雰囲気や相談しやすい環境づくり等、子育て世帯の孤立化を防ぐ活動が、利用者増加へ繋がったものと感じる。SNSを活用し、情報発信にも力を入れたことも、より利用者増へ繋がった。 しかしながら、その一方で中高生の利用者がほぼ横ばいであったことから、「第3の居場所」として更に利用されるように、中高生へのアプローチの手法を今一度検討し、利用者増へ繋げてほしい。

最終評価

総合点数
80
最終評価
A



評価年度

令和 7 年度

1. 事業実施状況

(1) 指定事業

※各事業の詳細は別添事業報告シートを参照のこと

評価（◎：良い ○：普通 △：不十分）

事業名	計画回数	実施回数等（詳細は別添の事業報告シート）	自己評価	町評価
児童館事業	50回	以下に、事業ごとの詳細な報告を記載している。	◎	◎
児童クラブ事業	12回		◎	◎
子育て広場事業	70回		◎	◎
地域連携事業（児童館事業）				
おもちゃ病院「くまさん」	5回	5回実施した。その時によって修理するおもちゃが0の時もあり、2，3個の時もあった。子育て広場内におもちゃ病院についての掲示を行うとともに、児童クラブでも呼びかけをしたことで、認知度があがっていた。	◎	◎
子育てハッピー広場	2回	PR活動を2回行った。参加者は、その時に検診対象になっている方に向けてのため、目標値の設定はしていない。PR活動を行った際には、紹介した手遊びを、待ち時間の際に親子で遊んでいる姿がたくさん見られた。	◎	◎
評価点			15	15

(2) 提案事業

事業名	計画回数	実施回数等（詳細は別添の事業報告シート）	自己評価	町評価
小学生対象事業（児童館事業）				
チャレンジランキング	12回	目標値を平均10人に設定し、15回実施した。 結果、15回合計で278人参加し、平均約18.5人の参加で、参加率は185%であった。計画回数よりも多く実施したこと、期間を設けて行うイベントを取り入れたことで、気軽に参加しやすくなったために参加率が上がった。	◎	◎
みんなであそぼう	12回	目標値を平均12人に設定し、11回実施した。10月児童館祭り開催の為実施しなかった。結果、11回合計で142人参加し、平均約12.9人であった。こどもたちの要望や新しい内容をイベントに反映させたことで参加率が上がった。	◎	◎
どんぐりーぐ	11回	目標値を平均10名に設定し、11回実施した。 結果、11回の開催で、126名が参加し、平均12.6名の参加で参加率は126%となった。こどもたちの期待に応える制作物や題材を工夫することで参加人数が増えた。	◎	◎
ペア・きつず商店街	1回	参加人数の目標値を50人に設定して実施した。結果、80名の参加が目標値を上回ることができた。7月から準備を進めこどもたちがチームでお店を企画し、制作、販売を行った。楽しい活動になった。また、この活動で使用した仮装通貨モグは児童館祭りでも使用できるようにすることで、活動につながりを持たせることができた。	◎	◎

中学生高校生対象事業（児童館事業）				
中高生タイム	12回	目標値を平均2人に設定し、11回実施した。 結果、11回合計で42人参加し、平均約3.8人参加率は190%であった。日にちを設定せずに来館した時に声をかけ参加を呼びかけた。カフェも開催したのも利用者を増やす効果があった。	◎	◎
中高生ボランティア受け入れ	随時	本年度は1人の登録であった。夏休み期間、こどもと遊んだり行事の準備を手伝ってくれた。児童館の仕事やこどものとの関わり方を体験してもらった。	○	◎
全来館者対象事業（児童館事業）				
季節イベント	2回	目標値を平均70人に設定し、「児童館祭り」と「クリスマス会」の2回実施した。 結果、児童館祭り50人、クリスマス会61人、合計で111人参加し、平均約55人参加率は79%であった。人数は目標に届かなかったが、児童館祭りでは神輿体験など新しいイベントを取り入れた。地域興し協力隊や地域の方々の協力をいただき、地域の歴史を知ったり貴重な体験をすることができた。地域の方からも喜ばれた。クリスマス会ではコーラスや読み聞かせコーナーやプレゼント、そして児童クラブのこども達がダンスを披露するなど盛り上がった。	○	◎
おさがりマルシェ	1回	目標値を50人参加と設定し、実施した。 結果、当日は61人の来館があった。参加率は122%であった。クリスマス会と同じ日に開催したことで参加者が増加したと考える。衣類は地域の方からの寄付と西部児童館で保管していた衣類を利用。残った衣類は西部児童館で活用していただいた。	◎	◎
児童クラブ事業				
こどもエコクラブ	不定期	児童クラブ登録児童は全員参加のため、目標値の設定はしていない。実施回数は7回であった。昨年度から引き続き、お花や野菜を育てる活動を行った他、リフノスに路線バスを使って移動し、収穫した野菜を使った調理を行い、食べる活動も行った。野菜を育てることや料理をすることの楽しさを知ってもらえた。また、運営協議会の委員さんから提案されたリボンベジタブルという活動を行い命の強さや物を大切にすることを学んだ。	◎	◎
オンラインチャンネル参加	30回	目標値を平均3人に設定し、20回実施した。 結果、20回合計で96人が参加し、平均4.8人参加率160%であった。イベントの実施回数が減った要因として、オンラインチャンネルが全国一律の時間で設定されているため、児童館児童クラブ主催のイベントと重なってしまい参加できないことがあった。	○	○
お誕生会	12回	児童クラブ登録児童は全員参加のため、目標値の設定はしていない。また、令和7年度は毎月お誕生児がいたため、12回実施した。 令和5年度から引き続き行ったイベントだったが、カードのデザインを変えたりと変化をつけることで、さらに楽しんでいる姿が見られた。	◎	○
こども会議	不定期	今年度は1回だけの開催となった。児童館の玄関に飾るウエルカムボードをみんなで制作することになり、デザインをどうするかを話し合った。参加者6名で、思い思いのアイデアが出された。空と海をイメージしたデザインに決定し制作した。会議開催の機会が少なかった。次年度はこどもたちの身近なことを問題などを取り上げていきたい。	○	○
こども企画	不定期	令和7年度は不定期開催とし、3回企画の提案があり、行事を実施することができた。「あやとり対決」には4名、「縄跳びチャレンジ」は3名、「サッカー大会」は6名の参加があった。とこどもたちのやりたいが詰まった企画が行われた。	◎	◎
モグちゃん's CUP	1回	今年度初めて実施した。大和町3館の児童館のこども達と競技を行い交流することができた。4つの種目に代表を決めて大会まで練習を積んできた。結果は優勝は出来なかったが一生けん命にがんばる姿、選手を応援する姿がみられた。他地域のこども達と互いに姿をみての交流となった。練習期間を設けることで、こども達が手持ち無沙汰でトラブルが発生することを減らす効果もあった。	◎	◎

子育て広場事業				
幼児クラブ（登録制）	10回	「よちよち」「すくすく」各10組を募集定員とし、前期後期でそれぞれ募集を行った。また、イベントも前期後期でそれぞれ5回、合計10回実施した。前期は「よちよち」は8組、「すくすく」は5組の登録、後期は「よちよち」が10組、「すくすく」が7組の登録であった。登録率は75%であった。後期の登録が増えている。前期の活動の楽しさが影響していると考える。	◎	◎
おはなしタイム	12回	11回実施した。12月はクリスマス会との中で読み聞かせコーナーを設けたので実施しなかった。 結果、内2回が0人の参加であったため、実施率が75%、参加者は9回合計で28組で、平均3.1組であった。おはなしぱんどろさんが担当の会は参加者が多く、それ以外は参加者が少なく、偏りが見られた。	○	○
Ohanaサロン	12回	実施回数は11回で、12月はクリスマス会を行い実施しなかった。 11回のイベントに合計129人（58組）が参加し、平均11.7人（5.3組）であった。保護者のリフレッシュも目的としているイベントのため、保護者が楽しめるイベントもあったが、親子で一緒に楽しめるイベントが一番参加率が上がっていた。今年度は藍の葉染めの活動も取り入れたところ、好評であった。	◎	◎
作ってわくわく	12回	12回実施し119名（55組）の参加があり、平均9.9人（4.6組）の参加であった。毎月季節に合わせたカレンダー作りを行った。前半は3組ほどの参加が後半は5組、6組の参加になった。	◎	◎
ベア・きっずデー	12回	令和7年度から実施した。10月と12月は他の行事の関係で実施しなかった。10回実施し76名（37組）の参加があり、平均7.6人（3.7組）の参加であった。1組だけの参加の行事のあった。制作の行事の参加者比較的多く、運動系の行事への参加が少なかった。	○	◎
その他事業				
利用者アンケート	2回	乳幼児保護者・小学生・中高生・児童クラブ登録児童保護者を対象に、アンケートを2回実施した。	◎	◎
避難訓練	6回	その時の全来館者を対象として行ったため、目標値の設定は行っていない。結果、実施は9回、実施率は150%であった。実施回数が増えたことで、様々な場面を想定した訓練を行えた。	◎	◎
評価点			57	59

(3)自主事業

事業名	実施時期	内容・回数・参加者等
・児童クラブ事業 季節イベント	4・8・12・3月	令和7年度は、4月に「児童館探検」「月経について」、8月に「特別遠足」、12月に「クリスマス会」と「大掃除」、1月に「初詣」3月に「お楽しみ制作」を行った。児童クラブ登録児童は全員参加のため、目標値の設定はしていない。参加者は季節に合わせたイベントをみんなで楽しむとともに公共交通機関を使う経験や共同制作や地域の歴史を知る等の貴重な体験をすることができた。
・子育て広場支援事業 水遊び	7・8月	施設の外にあるテラスを活用し、テラスの下で水遊びを行った。実施は、7・8月の午前とし、希望がある場合に実施した。合計21組の親子が参加し、家庭では準備が大変な水遊びが気軽にできるという声をいただいた。

特色セルの事業数のみ入力	自己評価集計	事業数	基礎点	実績点
	指定事業	5	10	15
	提案事業	21	42	57
	自主事業	2		2
	合計	28	52	74
	町評価集計	事業数	基礎点	実績点
	指定事業	5	10	15
	提案事業	21	42	59
	自主事業	2		2
	合計	28	52	76

2. 事業の実施状況総合評価

自己評価（５段階）	自己評価理由	評価（％）
S	令和6年度の反省を活かしたイベント内容の見直し・充実を行った。令和6年度よりも乳幼児親子の利用者が増加した。リピーターも多く利用者からも一定の評価を得た。しかしながら、行事によっては令和6年度よりも参加者減少したイベントもあり、更に内容を検討していきたい。地域を知る、地域連携ということで、児童館まつりでは染殿神社の神輿担ぎ体験や神社の歴史を学ぶ場を設けた。こどもエコクラブの活動に、運営協議委員会で提案されたリボンベジタブルという町内会さんからは法被をお借りした。 また、保育園と連携できるよう幼児の皆さんに児童館体験をしてもらったり情報交換を行ったりした。SNSを利用した告知を増やしたり、内容を工夫してきた。中高生タイムへの参加も令和6年度よりも増加した。保護者アンケートでは、児童館の活動内容や職員の対応について高い評価をいただいた。	142%

町評価（５段階）	町評価理由	評価（％）
S	指定管理者3年目になり、昨年以上に地域に密着した運営になっていた。町内会はもちろんのこと、葉山保育園交流、赤沼染殿神社の神輿担ぎ体験、地域おこし協力隊と歴史について学ぶ等、「地域を知る」ことに注力されていたと感じた。運営委員より提案された「リボンベジタブル」の活動を新たに導入するなど、子ども達にとっても良い体験の場の提供に繋がっていた。 また、子育て広場は多彩なイベントを企画したり、参加しやすい雰囲気や相談しやすい環境づくり等、子育て世帯の孤立化を防ぐ活動が、利用者増加へ繋がったものと感じる。SNSを活用し、情報発信にも力を入れたことも、より利用者増へ繋がった。 しかしながら、その一方で中高生の利用者がほぼ横ばいであったことから、「第3の居場所」として更に利用されるように、中高生へのアプローチの手法を今一度検討し、利用者増へ繋げてほしい。	146%

利府町東部児童館 モニタリング評価【収支状況シート】

利府町

評価年度

令和 7 年度

●経営状況

(1)施設の収支概要

単位：千円

項目	前年度予算	今年度決算	予算決算比
収入 (a)	36,010	36,010	0
指定管理料	36,010	36,010	0
利用料金収入	0	0	0
(うち、減免補填額)	0	0	0
事業収入	0	0	0
その他の収入	0	0	0
支出 (b)	36,010	36,010	0
人件費	25,343	25,343	0
事務事業費	3,883	3,883	0
役務費	329	329	0
使用料/賃借料	624	624	0
維持管理費	639	639	0
その他の支出	5,192	5,192	0
収支 (a)-(b)	0	0	0
備 考			